



幼稚園・小中学校における シトラスリボンプロジェクトの取組について

コロナ差別をなくし、互いに支え合う優しさあふれる人の輪を広げていくために、子ども達がシトラスリボンを作り、意識を高めていく活動を行います。

- 対象 実施を希望する幼稚園・小・中学校の園児・児童・生徒、その他（教職員・保護者・地域の方等）
※実施の対象については各園・各学校ごとに考えて取り組んでいる。
- 内容 子どもたち同士で改めてコロナいじめをしないことを確認しあうとともに、お互いが優しい心で受け止め合い、声をかけあう優しさあふれる人の輪を広げていくことができるようにするために、シトラスリボンを桐生市の子どもたち自身が作り、身につけたり掲示したりすることで、意識を高めていく活動をする。（教育委員会で材料となるリボンを用意し、活動例や作成方法等を紹介した。）



【シトラスリボン】

【シトラスリボンプロジェクトとは】

コロナ禍で生まれる差別や偏見をなくしていこうと愛媛県の有志が立ち上げたプロジェクトで、愛媛県特産の柑橘にちなみ、シトラス色（緑や黄色・オレンジなど）のリボンを身につけて「ただいま」「おかえり」「ありがとう」の気持ちを表す運動である。リボンの三つの輪は地域・家庭・職場もしくは学校を表している。

桐生市でも「シトラスリボンinきりゅう」が有志により立ち上がることとなり、シトラスリボン作成方法等についての相談の際にご協力いただいた。

【問い合わせ】

教育部学校教育課指導係
担当 糸井
TEL 0277-46-1111（内線683）

みんなで広げよう！シトラスリボンプロジェクトについて

令和3年1月15日
学校教育課指導係

1. 経過

- ・「シトラスリボンプロジェクト」とは、コロナ禍で生まれる差別や偏見をなくしていかうと愛媛県の有志が立ち上げたプロジェクトで、愛媛県特産の柑橘にちなみ、シトラス色（緑や黄色・オレンジなど）のリボンを身につけて「ただいま」「おかえり」「ありがとう」の気持ちを表す運動である。リボンの三つの輪は地域・家庭・職場もしくは学校を表している。
- ・桐生市でも梅田町のせせらぎサロンで始まり、有志の方々により現在「シトラスプロジェクト in きりゅう」を立ち上げる準備をされている。

2. 目的

- ・桐生市での感染者数が増えている現在、子どもたち同士で改めてコロナいじめをしないことを確認しあうとともに、お互いが優しい心で受け止め合い、声をかけあう優しさあふれる人の輪を広げていくことができるようにしていきたい。そのために、このシトラスリボンを桐生市の子どもたち自身が作り、身につけることで、意識を高めていく活動をする。

3. 実施対象児童・生徒（案）

- ・小学校5・6年児童（約1,600人）
 - ・中学校生徒（約2,350人）
- ※活動の難易度を考えると小学校高学年以上が適当と考える。
※実施については、各園・各学校の希望による。幼稚園でも実施できる場合は申し込むことが可能である。
※JRC委員会等が中心となって活動を進めること等も考えられる。

4. 材料等

- ・リボン（1人分50cm）※市教育委員会で用意する。
実施人数を別添「実施申込書」で申し込む。

5. 活動

例：

- ・ウイルスがもたらす偏見・差別等をなくし、互いに支え合う温かい学級づくりのために、自分たちでできること、取り組んでいきたいことについて学級で話し合う。
※参考教材：
 - ・「新型コロナウイルスの3つの顔を知ろう！～負のスパイラルを断ち切るために～」日本赤十字社
 - ・「新型コロナウイルス～差別・偏見をなくそうプロジェクト～」
You Tube 映像教材（約3分） 文部科学省
 - ・時期によっては、いじめ防止子ども会議と関連させることも考えられる。
- ・パンフレット等から児童・生徒によるシトラスリボンについての意義の理解をする。
- ・シトラスリボン作りをする。
- ・シトラスリボンを身につけること（ランドセル・バックに付けるなど）で、コロナ差別や偏見をなくすことを意識していくとともに、周囲の人々に啓発していく。

※リボン作りについては、シトラスリボンプロジェクト公式ホームページや県ホームページ等にて You Tube 動画がアップされている。また、作り方についての添付資料も活用できる。

○群馬県庁ホームページ <https://www.youtube.com/watch?v=nE9AlwWJZ2Q>

○シトラスリボン公式ホームページ <https://citrus-ribbon.com/>

※リボンの結び方が難しい場合は、3つの輪を作ってボンドで止める方法でもよい。
※桐生市でシトラスリボンプロジェクトに関わってきている地域包括支援センター山育会渡辺さんを通じて、リボンづくりについて教えられる方を学校にお呼びすることも可能である。